

第150号

2024年7月1日

長野 教弘だより

[編集・発行]

公益財団法人
日本教育公務員弘済会長野支部
TEL026(224)0611
株式会社 長野教弘
TEL026(224)0844

〒380-0836長野市南長野南県町999-18
不動産会館ビル



ホームページ URL <https://www.nagano-kyoko.jp>



茅野市立永明中学校(小中施設一体型校舎)

も く じ

ごあいさつ …………… 2～3 ページ	安心支える「たすけあい」の輪 …… 6 ページ
2024年度 教育振興事業選考委員 …… 3 ページ	2024年度 芸術鑑賞助成事業公演 …… 7 ページ
2023年度 教育振興・福祉事業実施報告 … 4 ページ	福祉事業の申請は「2年以内」です …………… 8 ページ
2023年度 読書活動助成一覧 …………… 5 ページ	表紙写真(学校紹介) …………… 8 ページ
共済事業(提携保険事業)提携会社 ジブラルタ生命決算(案)概要報告 … 6 ページ	

よろしくお願ひします

2024年度 公益財団法人日本教育公務員弘済会長野支部役員名簿

◆顧問		◆運営委員	
武田 育夫(長野県教育委員会 教育長)		湯本英晴 今井輝彦 小須田広利 小池伸太郎	
近藤 守(長野県市町村教育委員会連絡協議会 会長)		町田 充 林 克也 鷲澤拓治 高山雅希	
◆役員		宮沢 久 遠藤博史 武田光典 料治正和	
支 部 長 藤田茂樹		芋川恵美子 滝澤美里 千邑悟司 山本 忍	
副支部長 野本 仁 相場瑞樹 細尾俊彦 滝澤 崇		畠山文子 古村洋子 駒津美恵 松田真理	
専任幹事 池上 宏		武田敦子 阿部恵二 藤澤里美 羽山 功	
幹 事 臼井 学 菅沼達勇 篠田 淳 渡辺 誠 田中澄子		島崎 剛 笹森文仁 成田公一 平野弘蔵	
監 査 藤原栄治 小林 修		山崎和芳 木下潤二 郷原永紀	

(敬称略)



顧問

武田 育夫

(長野県教育委員会
教育長)

顧問就任にあたって

今年度、公益財団法人日本教育公務員弘済会長野支部の顧問を務めさせていただきます、長野県教育委員会教育長の武田育夫です。

さて、本年度は、長野県教育委員会が、長野県の教育の理念や方向性、政策などを示した「第4次長野県教育振興基本計画」の2年目にあたります。この計画では、

「個人と社会のウェルビーイング

の実現～一人ひとりの『好き』や『楽しい』『なぜ』をとことん追求できる『探究県』長野の学び～」を目指す姿としました。変化の激しい不安定な時代を迎え、新しい価値や時代を想像する資質能力の必要性が高まる中、児童・生徒が生涯にわたって主体的に学び続け、探究し続ける力を育成できるよう取り組んでいるところです。

このような時代にあって、教育の世界も変化することが必要となっています。学校というところはなかなか変わりにくいところではありますが、コロナ禍を経て、徐々に変化してきております。例えば、教室にはICT機器が整備され、児童・生徒は一人一台ずつタブレット端末を持って授業に取り組んでいます。教職員や子どもたちは、当初はそれらを使うことで精一杯でしたが、今では文房具の一つとして扱えるようになってきました。このような状況に至ることができたのは、コロナ禍で子どもたちの登校がままならないときも、学びを続けることができるよう教職員一人ひとりが慣れないICT機器や教材と格闘し、学校全体で新たなことに挑戦し続けたからに他なりません。また、何より、その挑戦に、子どもたちも一緒になって、ワクワクしながら取り組んだことによります。子どもたちは新しい機器に、抵抗なく挑んでいきます。その結果、機器に慣れるのが早く、大人顔負けで使いこなせるようになります。教職員はそういった子どもたちの挑戦する姿から学び、子どもたちと一緒に成長しています。

また、子どもたちは、学校の中だけで成長するものではありません。例えばその地域に出ていって、小学生が身近な大人に仕事について教えてもらったり、中学生が企業等を訪問して共に働かせてもらったり、高校生が地域課題に大人たちと取り組んだりして学校へ帰ってくると、発言内容が大人っぽくなったり、学習に取り組む態度が変わったり、大きな成長を見せてくれます。生まれ育った地域が大きく変わりゆく中、地域を学ぶことや地域から学ぶこと、地域で学ぶことは、今後も引き続き重要なことでもあります。

教育振興を旨とする本会は、こういった変化を恐れずに新たなことを研究し、挑戦する学校や教員に対して、地域と子どもたちが共に関わる教育活動に対して、様々な事業を通して多大な支援をしてきており、その支援に多くの人が勇気づけられています。こういった教育活動に思い切って取り組むことができるよう、教職員の福祉活動の充実にも力を入れています。

また、コロナ禍後の不安定な世界情勢が一因ともなっている物価上昇が続く中、日常の学校生活や大学進学後の生活に不安を抱える子どもたちもいます。そのような高校生に対しては、奨学金を給付したり、大学進学に際して無利子で貸与したりするなどの支援をしております。支援を受けた生徒からは感謝の言葉が寄せられております。昨年度からは新たに大学生に対する給付奨学金支援も始めたところです。

これから、社会がどのように変化していくのかは予想がつきませんが、変化がとどまることはないことでしょう。教職員も子どもたちも、その変化が続く中を乗り越えていかなければなりません。しかし、変わり続けていく社会の中でも変わらないのは、教育は子どもたちのためのものであるということです。子どもたちのために、教育も変わる必要がある。そのために、本会が果たすべき役割や本会にかかる期待はますます大きくなることと思います。その中で、微力ではありますが、与えられた役を全うできるよう、「最終受益者は子どもたち」の理念の下、精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。



副支部長
相場 瑞樹
(長野県教職員組合
執行委員長)

副支部長就任にあたって 教育振興と相互扶助の更なる充実を願って

過日の運営委員会において、新しく副支部長に選任にいただきました。教弘事業の発展のために尽力されてこられた先輩役職員の皆様と協力し、微力ではありますが、事業の前進のために精一杯努めてまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

さて、貧困と格差がますます拡大する中、教弘が公益事業の一環として奨学金貸与や高校生就学奨励金給付などの

奨学事業の充実を図ってきていることは、これまでも増して子どもたちの学習権を保障する上で大きな役割を果たすものです。また、教職員の福利厚生や教育振興は、本来ならば公的な措置が十分に図られるべきものですが、現状をみれば教弘の果たす役割が一層重要になっているところです。「長野県教育の振興発展に寄与する」の支部設立目的の下、先見性と慎重さを求められる重要課題に対し、会員の皆様の立場に立ち、対応してまいりたいと思います。

最後に、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



専任幹事
池上 宏

専任幹事就任にあたって

この度、縁あって教育公務員弘済会長野支部の専任幹事を務めさせていただくこととなりました。この3月まで43年間高校現場の教壇に立ち、授業、生徒会・クラブ活動等を通じて日々子どもたちからエネルギーをもらい、彼らの成長を支える仕事の尊さと責任の重さを感じつつ勤務してきました。

同時に、奨学金、研究活動助成、福利厚生といった諸事業を通じ、折に触れて子どもたちと教職員を支え続けている教弘の存在を、非常に心強く感じておりました。

この間、教育を取り巻く状況は大きく変わり、コロナ禍

後の教育現場には多様な課題が山積し、子どもたちと教職員を取り巻く環境は一段と厳しさを増しています。学校や教育現場が、そこに関わるすべての人たちにとって明るく、生き生きと、希望あふれる場であり続けるために、子どもたちと教職員を『オール教育界』の立場からサポートする教弘の取り組みはますます重要になっていくに違いありません。

もとより微力ではありますが、教弘長野支部のこれまでの取り組みを一層充実、発展させ、長野県教育に寄与するために全力を尽くす所存であります。会員の皆様のご協力を切にお願いして、専任幹事就任の挨拶とさせていただきます。

2024年度 教育振興事業選考委員

委員氏名	所 属
委員長 茅野 公穂	信州大学教育学部教授
委員 佐久 浩信	長野県教育委員会学びの改革支援課指導主事
委員 浅沼 雅文	長野県教育委員会学びの改革支援課主任指導主事
委員 松原 雄一	長野県高等学校長会（長野県須坂高校校長）
委員 藤澤 里美	特別支援学校校長会（長野県長野養護学校校長）
委員 野本 仁	長野県校長教頭組合執行委員長
委員 西澤 桃子	長野県教職員組合教文部長
委員 内堀 守	長野県高等学校教職員組合教文部長
委員 下田 有輝	須坂市立須坂支援学校教諭
委員 佐原 智行	元長野県東御清翔高等学校校長
委員 池上 宏	日教弘長野支部専任幹事

(敬称略)

▼ 2023年度 教育振興・福祉事業実施報告

2023年度教育振興・福祉事業は下記のとおり貸与・助成いたしました。

内 容	人数、件数	金額(単位：円)
貸与奨学金事業(大学・大学院・短大・専門学校)	35人	29,500,000
高校生給付奨学金事業	270人	2,700,000
教育団体・研究大会助成事業	17団体・研究大会	1,910,000
学校研究助成事業	78校	3,750,000
個人研究助成事業	111人	2,440,000
学校文集(詩集)助成事業	72校・園	720,000
ボランティア活動助成事業	365校	3,650,000
地域連携教育助成事業	9団体	892,000
読書活動助成事業	115校	5,717,906
教育文化事業	13公演/1,300名	6,211,000
教育カレンダー出版事業	850部	(株)長野教弘に委託
入学祝金事業(小学校・高校・大学他)	597人	4,365,000
結婚祝金事業	89人	890,000
出産祝金事業	209人	2,090,000
宿泊補助事業	228人(述べ)	684,000
介護見舞金事業	2人	40,000
人間ドック補助事業(退職会員)	518人	5,115,021

2023年度 教育団体研究大会等助成

1	長野県公立小中学校事務職員研修大会	200,000円
2	長野県学校保健会養護教諭部会	200,000円
3	長野県高等学校校長会全県研究大会	150,000円
4	教育条件整備研究発表会	150,000円
5	長野県高等学校校長会定通部会 令和5年度全国定時制通信制高等学校校長会北信越ブロック 並びに第41回全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 北信越支部研究協議会	50,000円
6	令和5年度北信越家庭科高等学校長協議会 第54回総会並びに研究協議会	50,000円
7	長野県へき地教育振興協議会代議員会・総会	30,000円
8	中部地区第50回長野県私学教育研修会	30,000円
9	第55回長野県視覚・放送・情報教育研究大会木曾・塩筑大会	30,000円
10	第37回長野県国際教育セミナー	30,000円
11	第52回長野県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会	30,000円
12	第67回長野県国語教育研究協議会 中高・飯水大会	30,000円
13	2023長野県教育研究集会	500,000円
14	2023長野県高等学校教育研究集会	250,000円
15	長野県私立幼稚園・認定こども園協会東海北陸地区大会	50,000円
16	第50回信州理科教育研究会 諏訪大会	30,000円
17	第20回信州“教育の日”宮田大会	100,000円

2023年度読書活動助成一覧

北信・南信地区公立中学校・中学部115校に贈呈

2023年度の「読書活動支援事業」において、以下の115校に「5万円以内」の児童図書をお届けしました。
各校の読書活動の充実にお役立てください。

学 校 名	学 校 名	学 校 名
1 附属長野中学校	40 高社中学校	79 茅野市立北部中学校
2 屋代高等学校附属中学校	41 豊田中学校	80 茅野市立東部中学校
3 大岡中学校	42 栄中学校	81 鼎中学校
4 小布施中学校	43 城南中学校	82 松川中学校
5 須坂市立東中学校	44 城北中学校	83 高森中学校
6 高山中学校	45 坂城中学校	84 阿南第一中学校
7 山ノ内中学校	46 戸倉上山田中学校	85 阿南第二中学校
8 木島平中学校	47 屋代中学校	86 高陵中学校
9 野沢温泉中学校	48 埴生中学校	87 阿智中学校
10 信州新町中学校	49 更埴西中学校	88 下條中学校
11 豊野中学校	50 諏訪清陵高等学校附属中学校	89 売木中学校
12 飯綱中学校	51 高遠中学校	90 天龍中学校
13 戸隠中学校	52 辰野中学校	91 泰阜中学校
14 鬼無里中学校	53 箕輪中学校	92 喬木中学校
15 小川中学校	54 飯島中学校	93 豊丘中学校
16 中条中学校	55 南箕輪中学校	94 大鹿中学校
17 柳町中学校	56 中川中学校	95 遠山中学校
18 櫻ヶ岡中学校	57 長谷中学校	96 飯田西中学校
19 長野市立東部中学校	58 宮田中学校	97 飯田東中学校
20 長野市立西部中学校	59 伊那中学校	98 緑ヶ丘中学校
21 三陽中学校	60 伊那市立東部中学校	99 竜峡中学校
22 長野市立北部中学校	61 西箕輪中学校	100 竜東中学校
23 東北中学校	62 春富中学校	101 旭ヶ丘中学校
24 裾花中学校	63 赤穂中学校	102 信大附属特別支援学校
25 篠ノ井東中学校	64 駒ヶ根市立東中学校	103 長野県長野盲学校
26 篠ノ井西中学校	65 下諏訪中学校	104 長野県長野ろう学校
27 川中島中学校	66 下諏訪社中学校	105 長野県長野養護学校
28 更北中学校	67 富士見中学校	106 長野県稲荷山養護学校
29 松代中学校	68 原中学校	107 長野県若槻養護学校
30 若穂中学校	69 岡谷北部中学校	108 長野県飯山養護学校
31 七二会中学校	70 岡谷東部中学校	109 須坂市立須坂支援学校
32 犀陵中学校	71 岡谷西部中学校	110 長野県諏訪養護学校
33 広徳中学校	72 岡谷南部中学校	111 長野県伊那養護学校
34 長野市立長野中学校	73 上諏訪中学校	112 長野県飯田養護学校
35 常盤中学校	74 諏訪中学校	113 長野県花田養護学校
36 相森中学校	75 諏訪西中学校	114 根羽学園
37 墨坂中学校	76 諏訪南中学校	115 信濃小中学校
38 南宮中学校	77 永明中学校	
39 中野平中学校	78 長峰中学校	

—— 共済事業(提携保険事業)提携会社 ——

ジブラルタ生命保険(株)2023年度決算(案)概要

共済事業(提携保険事業) 提携会社ジブラルタ生命保険株式会社の
2023年度(2023年4月1日~2024年3月31日)の業績について、以下の通りお知らせします。

総資産…11兆8,937億円

企業の事業規模を示す財務指標の一つである総資産は、前年度末比0.2%減となりました。

基礎利益…1,632億円

保険料収入や保険金・事業費支払等の保険関係の収支と、利息や配当金等の収入を中心とした運用関係の収支からなる損益で、生命保険会社の本業の収益を示す指標の一つである基礎利益は、前年度比1.7%増となりました。

ソルベンシー・マージン比率…920.9%

大災害など通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる「支払余力」を有しているかを判断するための、行政監督上の指標の一つであるソルベンシー・マージン比率は、健全性の一つの基準である200%を上回る920.9% (前年度末比54.3ポイント増) となりました。

個人保険保有契約状況

個人保険保有契約年換算保険料…9,071億円

保有契約高…37兆3,088億円

個人保険と個人年金保険の合計保有契約高は37兆3,088億円(前年度末比0.9%増)、個人保険保有契約年換算保険料は9,071億円(前年度末比2.3%増)となっています。

S&Pグローバル・レーティングによる保険財務力格付けは「A+」

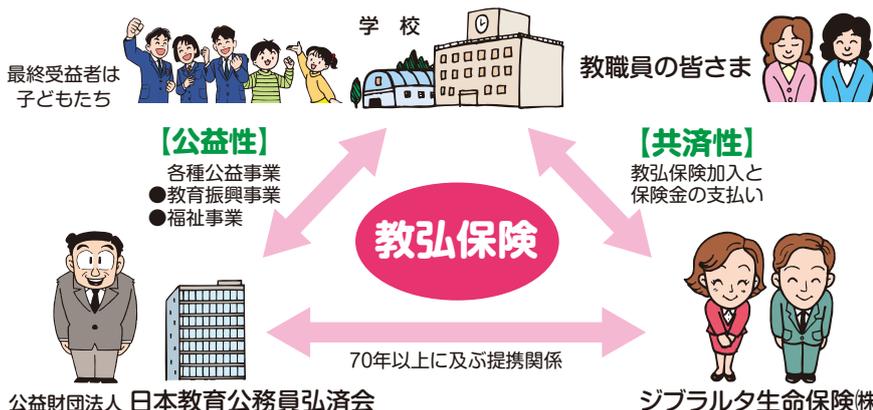
※格付けは、2024年5月22日現在の格付けです。

※スタンダード&プアーズ社は、金融商品取引法に定められている信用格付業者です。

※格付けは格付け会社の意見であり、また一定時点の数値、情報等に基づいたものであるため、将来的に変更される場合があります。

格付けは、保険会社全体を評価しているものではなく、将来の保険金支払いなどについて保証しているものではありません。

安心支える「たすけあい」の輪



お詫びと訂正

「2024(令和6年)年度保存版教育振興・福祉事業一覧」に以下の誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

- ・見開き中ページ見出し
誤「教育文成事業」
→正「教育文化事業」
- ・見開き右ページ「介護見舞金」欄
3か月以上
誤「年1回20,000」
→正「年1回20,000」

2024年度 芸術鑑賞助成事業のご案内

- 応募しやすい事業とするために、「往復はがき」による応募方法を廃止し、「QRコード」による申請としました。
- 昨年度までの「自己負担金」は、ありません。

- ①下記公演の鑑賞を希望される皆様は、右のQRコード、もしくは教弘長野支部（「長野教弘」で検索）ホームページからリンクされる申請フォームによりご応募ください。
- ②公演F～Iのチケットは、一人2枚まで。（申請フォームで選択）
- ③応募は、一公演につき、一人一回とします。（複数回の応募も、1回とみなします）
- ④チケットの発送をもって、当選の発表にかえます。（チケットは、8月中頃までには発送予定です。）



応募締切：2024年8月4日(日) 24:00

公演F マリン・オルソップ指揮ウイーン放送交響楽団 (ピアノ：角野隼斗)

9月14日（土） ホクト文化ホール大ホール
招待人数：A席25席 開場13：15 開演14：00 未就学児入場不可

公演G 石川さゆりアコースティックライブ

9月28日（土） レザンホール大ホール
招待人数：全席指定50席 開場12：30 開演13：00 未就学児入場不可

公演H 新日本フィルハーモニー交響楽団

10月6日（日） カノラホール大ホール
招待人数：全席指定50席 開場15：15 開演16：00 未就学児入場不可

公演I ガーマルチョコバ猛烈・炸裂ドッカンコメディ

10月20日（日） ホクト文化ホール中ホール
招待人数：全席指定50席 開場14：30 開演15：00 4歳未満入場不可

※注意事項

- ①申請事項に不備、記入漏れがある場合は、抽選対象外とします。
- ②当落、その他のお問い合わせはご遠慮ください。
- ③ネット等でのチケットの転売は、禁止します。転売発覚の際は、公演イベントに該当者の情報を提供します。

「結婚祝金」

(入籍日より)

「入学祝金」

(入学日より)

お忘れないように
ご申請ください。

福祉事業の申請は「2年以内」です

※申請資格は、
「2024年度教育振興・福祉事業一覧」をご覧くださいか、
日教弘長野支部までお問い合わせください。

「出産祝金」

(出産日より)

「介護見舞金」

(介護休暇・介護欠勤終了日から)

表紙写真・学校紹介

茅野市立永明中学校(小中施設一体型校舎)

本校は、昭和22年に、新制中学校として歩みを始めました。昭和44年以来使用してきた旧校舎から、今年の3月に引っ越しをし、4月から新しい校舎において生徒数315名で生活を始めました。新しい校舎は、諏訪地方で初めての永明小学校との施設一体型校舎です。小中学生が共に生活する校舎は、明るく広い教室に元気な声が響きます。校舎の中心には、「言葉と心」を育てるメディアセンターが位置し、本校小中一貫教育の柱の一つ読書図書館教育の大切な学び場になっています。また、メディアセンターに併設されているプレゼンテーションルームでは、生徒の発信力を高めていく学びを展開していきます。

永明中学校区は米沢小、永明小、永明中で構成されています。この新校舎建設に伴い、これからの予測不可能な時代を生きていく子どもたちのめざす姿を検討し、「相手に生きる私」と据えました。相手の気持ちや立場になって考え、相手の生き方の中に自分自身を高めていく私をめざします。ただ何かをしてあげる、してもらうという意味では無く、同世代や異年齢の友、地域社会の皆さんと共に活動する中で、相手の思いに触れ、多様性を認め合い、共に輝く学びを大切にします。そして茅野市小中一貫教育の柱をベースに、9年間の学びの連続を大切にし、小小連携(米沢小と永明小)、小中連携(小学校と中学校)を位置づけ、共に関わり合う学びの場を創っていきます。



校舎の中心にプレゼンテーションルーム



新しい体育館で行う生徒総会



大切にしている読書活動(担任の読み聞かせ場面)